

今治市造船人財育成支援事業

(1)事業の目的

造船技能者の人材不足が、深刻な課題となっている中、造船技能における基本的な職種である造船溶接、船殻組立、配管艤装、ぎょう鉄、電気艤装、塗装の6職種について、その職務内容を改めて整理し、職業評価基準を作成し、技能継承の基礎づくりを行うとともに、若手技能者の仕事への熱意を高めるため、職業評価基準に沿った「技能コンクール」、「技能検定」を実施し、互いの技能向上を図り、職場での賃金アップ等の処遇改善を促すことで、離職率の低減、人材の確保へ繋げることを目的とする。



船殻組立中級研修風景



配管艤装中級研修風景

造船人財育成支援事業の成果品について

(2) 造船人財育成支援事業の成果品

造船職業能力評価基準書

- ・造船溶接
- ・船殻組立
- ・配管艤装
- ・ぎょう鉄
- ・電気艤装
- ・塗 装

造船技能検定実施要領

造船技能コンクール実施要領

造船職業能力評価基準

○造船職業能力評価基準書

(1) 対象職種(6職種)

造船溶接、船殻組立、配管艤装、ぎょう鉄、電気艤装、塗装

(2) 評価基準

| 評価レベル | 習得技能 |
|----------|--|
| 特 級(監督職) | ●顧客満足を得た上で会社の利益を増大するために、現場管理者として業務遂行できるレベル |
| 1 級(上級) | ●実務作業をこなせるだけでなく、計画、配員を含む、まとまった仕事をこなせるレベル |
| 2 級(中級) | ●簡単な指示により段取りを含め一人作業ができるレベル |
| 3 級(初級) | ●指示を受けて作業ができるレベル |

造船技能検定実施要領

○造船技能検定実施要領

造船職業能力評価基準書に則って、それぞれの職種について、造船技能者の技能が各評価レベルに到達しているかどうかを検定する。

(内容) 筆記試験、実技試験

※合格者に対しては、今治地域造船技術センターの認定書を
交付予定

⇒将来的には、市内造船各社において、評価レベルに応じた
技能給の支給体制の確立を目指す。

⇒造船技能者の技能習得、向上を促す経済的インセンティブ
効果を期待。

造船技能コンクール実施要領

○造船技能コンクール実施要領

就業10年程度の若手技能者を対象に、2級(中級)程度の技能評価レベルのコンクールを開催することにより、造船各社の技能者が互いに切磋琢磨し、造船技能向上を目指す。

●若手技能者の造船技能習得意欲の向上(技能の継承)

(内容)

- 課題は、2級(中級)の職業能力評価基準よりも少し高いレベルで設定する。
- 作業標準時間を設定し、作業の効率化についても競争。
⇒作業の効率化による生産性の向上へ繋げる。

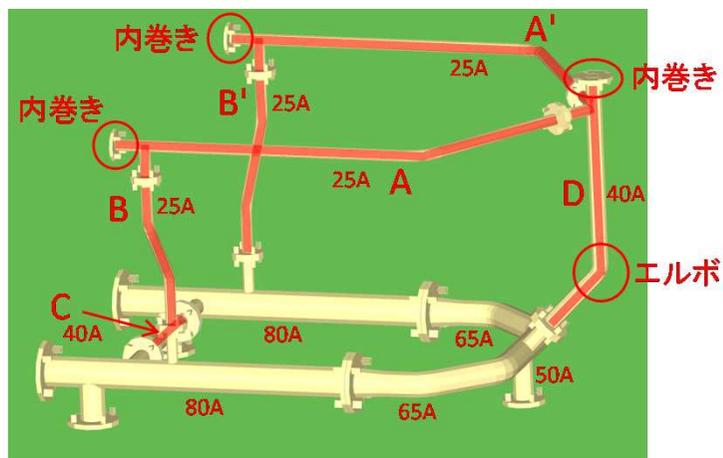
造船技能コンクールの開催

●第1回造船技能コンクール 配管艤装の部

開催日 : 平成27年4月26日(日)

開催場所 : 今治造船(株)本社工場内

参加チーム : 市内造船会社8社 10チーム



コンクール課題
作業標準時間 4時間

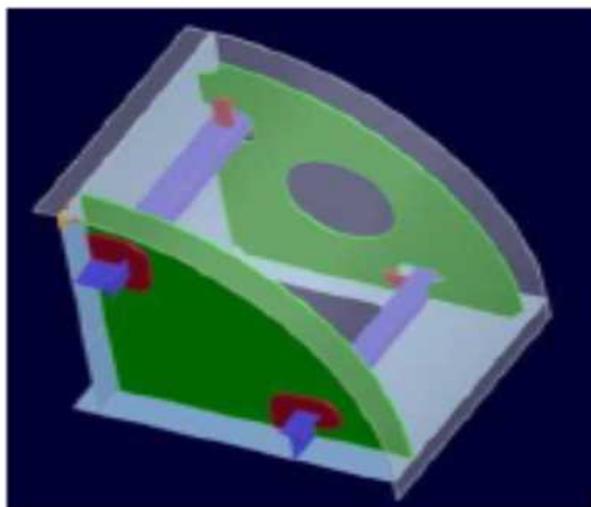
コンクール風景

●第2回造船技能コンクール 造船溶接・船殻組立の部

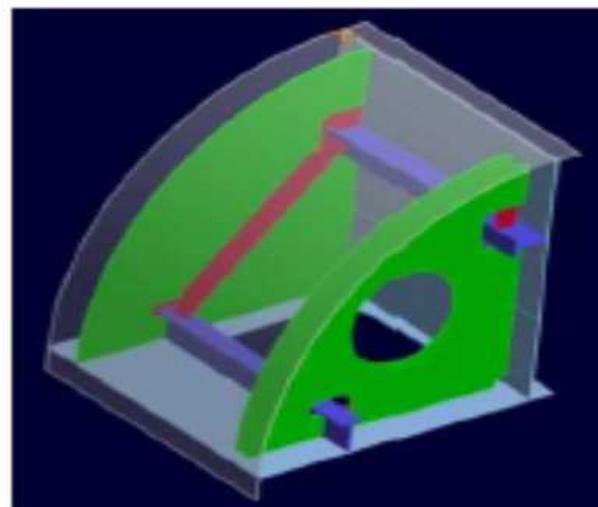
開催予定日 : 平成28年2月14日(日)午前8時～

開催場所 : (株)新来島どつく大西工場内

募集予定チーム数 : 10チーム(1チーム2人1組)



LOOKING FORE
(TOP面を下として)



LOOKING AFT
(TOP面を下として)

コンクール課題
(作業標準時間:4時間)